

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業		担当部署	企画総務部 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	安全で快適な環境の鳴門づくり			
政策(中項目)	1	安全・安心都市なると	事業期間	開始	平成 ▼ 16 年度
(小項目)		危機管理・防災			終期
施策	4	災害に強いまちづくりの推進			
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市民の防災意識の啓発と高揚						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		出前講座の開催	10	20	40	40	40	回

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	全市をあげて総合防災訓練を実施するなど、今まで以上の規模での防災啓発を実施した。出前講座や広報など等での防災知識や情報の提供を行っており、より市民に有益な情報を発信できるようテーマを吟味するなどし、効果を高めながら、数多く実施した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	出前講座の開催	10	21	40	40	40	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	出前講座の開催		10	21	-	-	-	回
	目標達成率(実績/目標)			105.0	-	-	-	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		6	2	36	36	36	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	6	2	36	36	36	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		202	430	815	815	815	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.031	0.066	0.125	0.125	0.125		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		208	432	851	851	851	千円	

【事務事業名：地震等災害対策普及啓発事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	出前講座の種類を1種類から2種類に増やし、広報紙等を利用し、積極的な出前講座の利用をよびかけている。 9月には市民参加の防災訓練も予定しており、市民の方々の積極的な参加をよびかけていく。
----------------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 災害に強いまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	地域ごとに防災へ意識や想定される被害の内容も異なることから、啓発時には地域の実情や特色も考慮に入れて行う。
<input checked="" type="checkbox"/>		① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	地域で自主防災組織を推進していく中で、活動の中心を担っている方が高齢者の組織が多く、地域防災活動の継続が懸念されるため、企業や学校への啓発も検討していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10				

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	未定	▼	月未定	▼
	どのように改革するのか				